

EU Indicators

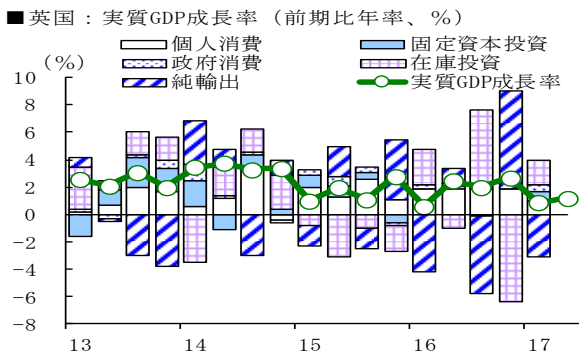
欧州経済指標コメント：4-6月期英国GDP速報値

発表日：2017年7月27日(木)

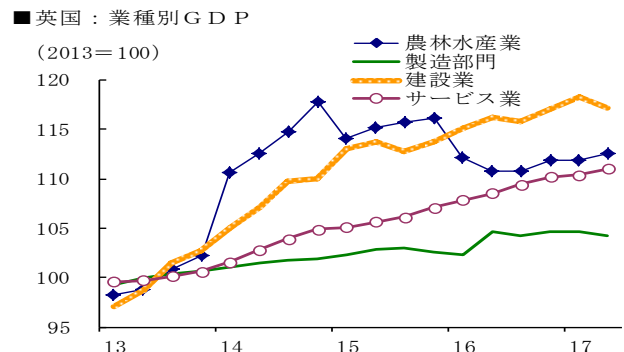
～温暖な天候でもこの有り様～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 26日発表の4-6月期の英国の実質GDP成長率の速報値は、前期比+0.3%と前期の同+0.2%から僅かに加速したものの、昨年後半の同+0.5~0.7%の成長ペースから鈍化。国民投票後も底堅く推移してきた英国景気の減速が顕著となってきた。需要項目別の内訳は8月24日の改定値を待たなければならないが、各種月次統計の動向から判断して、設備投資や建設投資にブレーキが掛かった模様。
- 速報段階で入手可能な業種別の内訳は、サービス（1-3月期：同+0.2%→4-6月期：同+0.5%）と農林水産業（+0.1%→+0.6%）で成長ペースが加速したものの、製造業（同+0.1%→同▲0.5%）と建設（同+1.1%→同▲0.9%）が足を引っ張った。サービスのなかでは、前期に大きく落ち込んだ流通・宿泊・外食業（同▲0.6%→同+1.1%）と運輸・通信業（同▲0.8%→同+1.0%）がリバウンドした一方、金融・企業向けサービス業（同+0.5%→同+0.4%）と政府・その他サービス業（同+0.4%→同+0.2%）が減速。消費関連の反発は前期の落ち込みと温暖な天候に支えられた模様。
- 4-6月期の成長率の速報値は5月の物価レポートの想定（同+0.4%）を下振れ。サービス業の反発も持続性に欠け、経済活動全般に力強さはみられない。6月にホールデン委員が年内の利上げ支持の可能性を表明したが、現時点では利上げ主張に転換するには材料不足と判断。8月3日のBOEの金融政策委員会では、据え置き7対利上げ2で政策変更が見送られると予想する。



出所：英統計局



出所：英統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
15/4-6月期	6.0	1.9	(▲ 0.3)	2.0	3.6	5.0	(▲ 10.9)	(2.2)	▲ 2.8	▲ 8.9
15/7-9月期	▲ 0.3	1.1	(2.5)	4.0	2.3	3.2	(▲ 6.9)	(▲ 1.4)	▲ 2.4	2.2
15/10-12月期	1.5	2.8	(▲ 1.6)	1.6	▲ 0.7	▲ 3.6	(1.0)	(4.4)	25.8	8.6
16/1-3月期	4.3	0.6	(4.8)	3.0	1.5	0.1	(0.3)	(▲ 4.2)	▲ 11.2	1.8
16/4-6月期	6.3	2.4	(1.3)	3.0	0.9	0.9	(▲ 3.5)	(1.1)	5.2	1.2
16/7-9月期	2.5	2.0	(7.6)	2.9	▲ 0.6	2.3	(3.0)	(▲ 5.6)	▲ 8.3	9.7
16/10-12月期	6.0	2.7	(▲ 4.4)	2.8	▲ 0.1	0.6	(▲ 7.8)	(7.1)	19.8	▲ 4.1
17/1-3月期	2.7	0.9	(4.0)	1.5	2.9	4.2	(▲ 4.6)	(▲ 3.1)	▲ 2.9	7.0
17/4-6月期	—	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—

出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。